

室神山

学校便り
平成30年3月23日号
江津市立江津東小学校長 安食 徹

野に山に緑の色が濃くなって、そこかしこに春色の動く気配がします。待ち遠しい春本番が、もうそこまで来ています。

本日をもって平成29年度の全教育活動を終えることとなります。保護者並びに地域の皆様方には、この一年間、本校教育活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございました。衷心よりお礼申し上げます。来年度におきましても変わりませず、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

卒業生 巣立つ

3月17日(土)、卒業証書授与式を挙げていたしました。多くの来賓の皆様方、卒業生保護者の皆様方のご臨席を頂き、誠にありがとうございました。多くの方々の見守りの中、6年間の全課程を終えた卒業生が、立派に本校を巣立っていきました。当日の校長式辞の一部を以下に紹介します。

(前略) 玉江大会や小中音楽会、ミニバス交歓会などの行事でも、最後まで全力を出し切る粘り強さ、本番に力を発揮できる集中力を見せてくれました。11月の人権教育の研究発表会の時には、社会科の授業を公開しました。和田先生の本気さに応えるように、最後まで授業に集中し、積極的に発言し、学びを深めていく姿に、参加者は大変驚かれたようです。何事においても挑戦し、協力的して課題を解決していく、素晴らしい6年生でした。本当によく頑張ってくれました。江津東小学校自慢の6年生です。在校生がこの一年間安心して、しっかり力を伸ばすことができたのは、あなたたちのお陰です。江津東小学校をどんどん良くしていってくれました。そして、これからも素晴らしい江津東小学校であり続けるための伝統の基盤を作ってくれたのです。本当にありがとうございました。覚えておいてください。19名の6年生の一人欠けても、こんなふうにはなっていません。この偉業を成すことができたのは、みんなが一つになったからです。みんな江東中学校に入学しますね。どうか、今まで通り全員一丸となって、今度は江東中学校をより素晴らしい学校にしていってください。あなたたちは最高の仲間なのです。あなたたちが一丸になった時、怖いものはありません。私はあなたたちを自信を持って送り出すことができます。これからいかなることがあろうとも力強く人生を歩んで行くことでしょ。

さて、今、パラリンピックが開催されています。障がいがありながら、最大限に自分を輝かせようとする選手たちのたくましい姿に、多くの感動が生まれました。パラリンピックの選手を見ていて、本当にすごいと思います。ただただ尊敬のみです。なぜなのか、選手たち全員が自分のことをかわいそうと思っていないからだだと思います。自分の今を、現実を受け入れ、前向きに一生懸命生きておられるからだだと思います。私たちの想像を絶する苦しみを体験したであろう方々が、ハンディに負けず、それを乗り越え、幸せをつかんでいく姿からは大きな希望が生まれます。パラリンピックの父と呼ばれるグッドマン氏は「失った機能を数えるな、残った機能を最大限に生かせ」と言いました。すごい言葉だと思います。

人生は、いいことばかりではありません。まさかと思う出来事も起きます。一生懸命取り組んでも、良い結果が出ないというようなこともあるでしょう。けれども、そんな経験も宝物に変えられるはずですよ。そして宝物に変えられるかどうかは自分にかかっています。皆さんは、これからの歩みの中で起きる様々な出来事に、時には喜び、時には悩み、心を大きく揺らしながら、たくましく成長していくに違いありません。「失敗のない人生は失敗である」という言葉があります。失敗を恐れず、夢と希望を持って、大きく羽ばたいてほしいと思います。

そして、思い出してください。赤ちゃんの頃からずっと見守ってくれた家族の顔を。注ぎ込まれた沢山の愛情や優しさが、皆さんのチャレンジや成長の原動力

になってきたのです。その後も、家族に加え、地域の方々、先生方など、より多くの人々に見守られてきたのです。どうかそのことに気づき、改めて感謝の思いをもってください。

また、担任として、将来のことまで見通しながら、誠実に向き合ってください。和田圭子先生、渡利哲也先生を始め、これまでに会ってきた多くの先生方。実際に会うことは少なくても、地域の方々、教育委員会の方々、給食センターの方々など、たくさんの方が、皆さんのために一生懸命になってくださっています。そういう人たちに、皆さんは囲まれているのです。今、このときも、これだけ多くの方が集まって祝福してくださっています。皆さんは温かい想いをたくさん受けています。

この二年間は、人権や人権感覚についてしっかりと学んできましたね。人権感覚とは「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める感覚」です。これがあるかないかで人生の方向は大きく変わります。人生でかかわる全ての人に、それぞれの人生があり、自分と同じように一生懸命生きているという事実を認められるかどうかで、対人関係は大きく変わります。このことを肝に銘じ、日々出会う人に感謝と敬意を持って人生を歩んでいってください。誰もが自分が置かれた現実の中で一生懸命に生きているのです。当たり前の中にも必ず感謝の種があります。一見嫌なことの中にさえ感謝の種はあります。平凡な日常、不平不満さえも、あなたの心の持ち方一つで感謝に変えられます。感謝は自分を幸福へと導いてくれます。感謝は最強の道標です。これをもっている人は、道を見失うことはありません。人生で起こることを、当たり前ととるか有り難いととるか、感謝するかしないかは自分で選んでいるのです。世界をどう見るかは、自分次第です。それぐらい自分はパワフルなのです。どうか自分の力を信じ、感謝をもって人生を切り拓いていってください。

卒業という大事な節目を感謝によって、より意義深いものにしてください。家族や支えてくださる多くの方々への感謝を携えて、中学校生活を充実させてください。私も素晴らしい六年生のおかげで、今年度も幸せな日々を過ごすことができました。皆さんと出会えて幸運でした。感謝です。本当に有り難う。(後略)

卒業式練習



卒業式に向けて、3月9日(金)から全校練習が始まりました。全校児童が気持ちを込めて練習してきました。1年生も時と場をわきまえて、精一杯頑張っていました。入学式の頃から比べると、大きな成長を感じます。大規模校であれば中学年から参加することが多い卒業式に、全校が参加できることは、とてもいい経験になる反面、長時間にわたる卒業式に参加することは、低学年にとっては大変辛いことでもあると思います。しかし、練習・卒業式の流れの中、「6年生のために心を込めて、いい卒業式をしよう」という気持ちで、一貫して一生懸命に取り組んでいる姿が見られ、とても頼もしく感じました。

東日本大震災についてのメッセージ

3月9日(金)の給食の時、広報委員会にお願いして、東日本震災についてのメッセージを放送してもらいました。

今日は初めての卒業式の全校練習、お疲れ様でした。気持ちを一つにして一生懸命練習している姿に、びっくりしました。江津東小学校の子どもたちはすごいなと改めて思いました。本番がより素晴らしいものとなるように、これからも練習をがんばってください。

さて、3月11日は何の日か知っていますか。2011年(平成23年)のその日に、東日本大震災が発生したのです。大変大きな地震であり、それによって、津波が発生したり、原子力発電所からの放射能漏れなどで避難しなくてはならな

くんだり、大変大きな被害が出ました。たくさんの方が命を失ったり、けがをしたり、避難したりしたのです。そして7年たった今でも、たくさんの方が苦しんでいます。私からのお願いです。明後日の3月11日には、被災地の人々がどうか早く元の幸せな生活を取り戻せるように祈ってほしいと思います。被災地に心を向け、「がんばってください」と思うだけで祈りになります。心のタンクが優しきでいっぱいになっただけでは、心が豊かになったとは言えません。あふれ出して、他の人たちに向かっていったときに、心が豊かになったと言えるのです。逆に、不平不満や恨みでいっぱいになってあふれ出したときは、大迷惑です。それは人のことを考えられない心のすさんだ状態と言います。誰もがそれぞれ悩みを抱えながら、一生懸命に生きています。しかし、一瞬でも、人に優しい気持ちを届けることができると、そのときだけは心豊かになれるのです。その積み重ねが本当に心を豊かにしていくのです。

団結力のある江津東小学校の子どもたちです。時刻を決めましょう。明後日3月11日（日曜日）の10時に被災地に向かって「がんばってください」という心を届けてください。忘れていたら、後でもいいです。みんなで心豊かな優しい人に成長していきましょう。

サケの放流会（4年生）



3月10日（土）の午後2時から、4年生がサケの放流会に参加しました。『都治川アピール』を完全に暗記し、大きな声で唱和しました。晴天の下、一生懸命育てたサケの稚魚を放流しました。4年後に大きくなって、戻ってきてくれることを願っています。放流の後、おいしいぜんざいをご馳走になりました。いい思い出がまた一つできたと思います。

バイキング給食

3月13日（火）にバイキング給食がありました。6年生は、まず自分が選んだメニューをおいしそうに食べ、完食してから、おかわりをしていました。何回もおかわりをする児童もいました。楽しそうに話をしながら、会食を楽しんでいました。小学生生活の思い出の一コマになったことでしょう。

読み聞かせ、お世話になりました

今年度も1年にわたり、毎月1回読み聞かせをして頂き、ありがとうございました。本を読むことは、子どもたちの成長にとって欠かすことができないのだと考えます。子どもたちが落ち着いて学習に取り組むことができるのも、読み聞かせが好影響を及ぼしているのだと思います。子どもたちが読書に親しむよい機会を作って頂いていますことに衷心より感謝申し上げます。

都治川アピール

川や河原に住む生き物たちは、春の温さを感じ動き始めました。私達が都治川に鮭の稚魚を放流し始めて、12回目の春がやってきました。昨年はたくさん鮭が帰ってきました。地球の環境を守り、この都治川の水や水辺を大切に、流れて行く江の川や日本海の海をきれいにするため、この川に鮭を放流し、また帰ってくる日を楽しみにして、『帰って来いよ都治川へ!』を願い、参加者全員で鮭の放流を行います。

平成30年 3月 10日



学校評価

A: 目標値をすべて達成 B: いずれかが目標値を下回る C: 2 つが目標値を下回る D: すべて目標値を下回る

	評価	結果と課題の説明	コメント	評価
豊かな心づくり	人権・同和教育の充実	A 教職員研修や授業は計画的に行うことができた。人権・同和教育の視点は活動計画の中に入っていたが、明文化はできなかった。	充実した取組ができています。今後も継続していく努力を続けてほしい。	A
	よりよい生き方をめざす道徳教育の充実	A 計画に沿って実施でき、研究授業などでも研修することができた。道徳コーナー設置も実施でき、充実することができた。	充実した取組ができています。今後も継続していく努力を続けてほしい。	A
	特別支援教育の充実	B コーディネーターが担任と兼ねているため、なかなか打ち合わせ等の連携をとることができなかつ	努力しながら引き続き取り組んでほしい。	A
	コミュニケーション力の向上	A 研究とも関連させていたので、学習の場面だけではなく、様々な機会でも育成することができた、成果があった。	向上が認められる。よい取組なので赤ちゃん登校日はぜひ続けてほしい。	A
確かな学力づくり	基礎的・基本的内容の定着	A 概ね達成できたが、個人差がある。個人差への対応が十分でなかった。	向上していると感じる。引き続き努力をお願いしたい。	A
	魅力的で創造的な授業づくり	A 学習課題に向け、個人思考を促すような授業をすることができた。	子どもの意識の向上が認められる。	A
	図書館活用教育の充実	B 90冊には届かなかったが、貸出冊数は昨年度と比べて増えている。司書教諭と連携をとって図書館をしっかりと活用した。	今後努力の継続をお願いしたい。	B
	家庭学習の定着	B 基礎基本の定着をめざした課題を続けることにより、ある程度の定着は達成できた。定着したことを生かすような課題など内容を深めることが不足していた。	家庭学習の内容、時間の工夫をしてほしい。家庭と連携をとる努力をお願いしたい。	B
たくましい体づくり	基本的生活習慣の定着	A くつろえはずいぶん意識してできるようになってきたが、後はまだ十分とはいえず、課題である。		A
	体力づくりの推進	B 体育の授業で取り組んでおり、記録よりもできることに主眼をおいているので、できる種目も増えてきた。		B
	給食指導、食育の推進	A どの学年も1回は栄養教諭の先生から食の学習をしており、充実した取組ができた。		A
	なかよし班活動の充実	A 集会等でなかよし班での活動を計画的にできた。行事や研究を絡めて「キラリコーナー」など感情を交流する場を設定することができた。	学年をこえてなかよくしている。今後も充実させてほしい。	A
信頼される学校づくり	ふるさと教育の充実	A 低中学年は地域に出かけて調べ学習に取り組んだり、高学年は地域の方を招いて話を聞いたりして、十分取り組むことができた。	今後も充実させてほしい。	A
	積極的な学校公開の場、情報発信	A 計画していた回数を実施することができた。学校だよりも定期的に発行することができた。学級だよりについては回数は違うがどの学年も定期的に発行することができた。	ホームページの有効活用してほしい。	A
	保小中の連携の推進	A こども園とは低学年とおもちゃまつりや一日入学などで交流を図った。中学校とは授業参観や同和問題学習についての情報交換など取り組んだ。小中合同の取組も充実することができた。		A
	学校評価の充実、教職員評価システムの充実	A 外部講師をよんで話を聴いたり、指導をしていたり、指導力向上を積極的に図った。		A

A: すべて達成 B: いずれかが目標値を下回る C: 2つが目標値を下回る D: すべて目標値を下回る

今年度の学校教育目標の達成状況を学校評価としてまとめました。具体的な取組について自己評価（児童、保護者、地域アンケートの結果をふまえた評価）を実施し、学校関係者評価委員による評価をしました。紙面の都合で一部のみ掲載しています。詳しい内容については、江津東小学校のホームページに掲載いたします。

人事異動のお知らせ

この度の人事異動についてお知らせいたします。

山本 隆美教諭は定年退職。

松尾 隆教頭は校長として松江市立美保関小学校、和田 圭子教諭は美郷町立邑智小学校、藤澤 忍教諭は江津市立津宮小学校、渡部 舞子教諭は島根県立益田養護学校、大内 清照講師は浜田市立今福小学校、平野 勇治講師は館長として江津市立図書館、河野 詩織主任主事は大田市立温泉津小学校、南口 幸愛支援員は江津市立高角小学校へにこにこサポートティーチャーとして転出いたします。これまで、大変お世話になり、本当にありがとうございました。衷心よりお礼申し上げます。